

1. 単元名 はしたの大きさの表し方を考えよう

2. 単元の目標

- ・小数を用いると、単位量に満たない端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさを表せるよさに気づき、進んでこれを用いようとする。
- ・小数も整数と同じ十進構造になっていることをとらえる。
- ・単位とする数に着目すれば、小数の加減計算も整数の加減計算と同じ考え方でできることを筋道立てて説明できる。
- ・端数部分大きさを、十進位取り記数法に基づいて、小数を使って表すことができる。
- ・1 / 10 の位までの小数の加減計算をすることができる。
- ・小数の意味や表し方、加減計算のしかたを理解する。

(関心・意欲・態度)
(数学的な考え方)

(数学的な考え方)
(表現・処理)
(表現・処理)
(知識・理解)

3. 本時の実際 (本時 11 / 11)

(1) ねらい

- ・補充問題や発展問題に取り組み、学習内容の深化・補充を図る。

(2) 学習過程

主な学習活動		伊藤 (センター) 先生 T 3 の支援		T 1	T 2
1. 身の回りには小数表示が多いことに気づき、なぜ多く使われているのか、どんなところに多く使われているのかを考える。		・プレゼンで一つずつ提示する。 (教科書 P 66) ・単名数で表せることや計算しやすいなど、小数で表すよさに気づかせる。		・センターの伊藤先生を紹介する。	
2. コース別に分かれて学習する。				・コース担当と場所を伝える。	
スマイルコース (補充的学習) T 2		チャレンジコース (発展的学習) T 1		パワーアップコース (発展的学習) T 3	
3. 補充問題をする。	・つまづいている子どもには、数直線や図を使って、0.1 をもとにした考えに立ち返らせる。	3. 発展問題をする。	・比較的簡単な問題から、難しい問題に取り組ませる。 ・場合によっては、友達同士で考えさせる。	3. 発展問題をする。	・つまづきがみられる問題は、皆で考えを発表し合って解決するようにする。
4. ふり返しをする。		・今日のがんばりを誉め、激励の言葉をかける。		・「ふり返しカード」を配布しておく。 ・時間があれば、感想を発表させる。	